

AEDの使い方……倒れている人を見かけたら

AED(自動体外式除細動器)は、心臓が停止している人に対し、機械が自分で判断して心臓に電気ショックを与え、心拍再開の補助を行う装置です。このチラシで使用イメージをつかんでください。

①倒れている人を見かけたら



肩をたたきながら声をかけます
(次第に声を大きく)



反応がなければ近くの人の人に119番への通報とAEDを持ってくることを頼みます



呼吸しているかどうかを確認します(胸・腹の動きを見ます)

②胸骨圧迫と人工呼吸



胸骨圧迫は、胸の真ん中を、胸部が5センチほどへこむくらいの強さで、1分間に100回程度押します※1

※1 童謡など歌いながらやるとリズムがとりやすいです。

(例)

あ	め	あ	め	ふ	れ	ふ	れ	か	あ	さ	ん	が	★	じ	ゃ	の	め	で	お	む	か	う	れ	い	い	な	★	び	ち	び	ち	ち	ゃ	ぶ	ら	ん	ら	ん	ら	ん	★
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	(約14秒→約102回/分)																	

※2 心理的に抵抗がある・感染症の危険性がある・マウスピースがない場合は人工呼吸を回避します。

胸骨圧迫と人工呼吸は、胸骨圧迫30回:人工呼吸2回の割合で行います。人工呼吸を回避する場合は胸骨圧迫を続けます。



人工呼吸は、あごを持ち上げて気道を確保し、鼻をつまみ、約1秒間、胸が上がる程度に、強く息を吹き込みます※2



③AEDが到着したら



ケースを開き、電源を入れます



パッドを取り出します



衣服を脱がせ、絵に合わせてパッドを貼り付けます



コネクタを接続します



AEDの音声ガイドが流れるまで待機します



「離れてください」のアナウンスがでたら、AEDから離れます★



AEDの指示に従い除細動ボタンを押します



「胸骨圧迫を開始してください」というアナウンスが流れたら、胸骨圧迫を開始します。

※少しでもAEDの知識がある人が操作します。

※パッドはつけたままにします。再度「ショックが必要です」というアナウンスが流れたら、手順★に戻ります。